



日本ではじめて、世界的なイベントであるワールドカップが終わりました。天気が悪かったのが残念ですが、すばらしい地図、コース、演出が用意されていて、ミレニアムにふさわしい大会だったと思います。インカレショート2000も、ワールドカップに負けないぐらい工夫の凝らしたイベントにしていきたいとおもいます。

さて、インカレショートの広報誌も第2号をむかえました。今回の特集は、昨年度日光で行われたインカレショートの実行委員長の藤咲さんにお話をうかがいました。

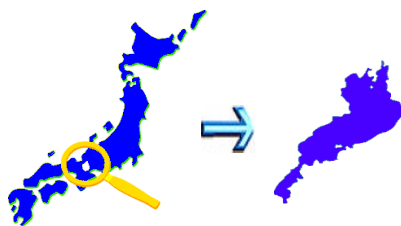
Q1 ずばり！インカレショートの魅力はなんですか？

A1 短時間で勝負が決まるので、観戦のポイントがつかみやすいことだと思います。人間、集中力はそう長続きしません。

Q2 インカレショートを運営する際に一番気を使った点、苦労された点はなんですか？

A2 人情味あふれる大会を目指し、学生・観戦者は勿論、運営者も楽しめるように気を使いました。一番苦労をしたのは、一週間前の設置時にはなかった伐採を大会前日に発見したことです。おかげで寝る時間がなくなりました。

インカレショート 2000



琵琶湖のそばだよ

日時：2000年11月12日（日）

場所：滋賀県高島郡高島町

会場：ガリバー青少年旅行村

問い合わせ先：[mail kimata_j@cfk.co.jp](mailto:kimata_j@cfk.co.jp) [tel 077-588-5030](tel:077-588-5030)

公式ホームページ：<http://www.orienteering.com/~ics2000/>

*一般併設大会もございます。奮ってご参加ください。

Q3 日光のインカレショートでは、市民大会に代表されますように、今までとは違う学生以外の方のための企画が用意されていましたが、反響はどうだったのでしょうか？また、日光ショートでは実現できませんでしたが、実現したらおもしろい、とっておきの企画などありましたら教えてください。

A3 市民大会に関しては多数の参加者を集めることはできませんでした。市民を多く集めるには、事前に複数回(できれば平日)現地入りすることが不可欠であると思われませんが、実行委員の大多数が社会人であったためそこまではしませんでした。

そのためにやや中途半端になってしまった感は否めませんが、この企画の趣旨は人集めではありませんので、少ないながらも楽しんで頂けた市民が存在した、ということに対しては満足しています。今後のインカレにおいても、形はどうであれ、地元の方々に我々がやっていることを伝える努力はしていくべきだと思います。

日光ショートで実現できなかった企画としては、一部の面々が A ファイナルで馬券(単勝・枠番連勝複式、100円単位)を売り出そうとしたんですが、「不謹慎だ！」との周囲の反対で断念した経緯があります。競馬新聞のノウハウはあったのに無念。

Q4 今後のインカレショートに期待されることがありましたら、御願います。

A4 今後とも、学生の一大目標となる大会であって欲しいと願っております。

藤咲さん ご協力ありがとうございました。

やはりショートの魅力は、観戦がしやすいということにつきますと思います。インカレショート2000でも、参加しても、観戦しても楽しい大会をつくっていきたくと思います。今年のインカレショートでは、学生以外の方が観戦されても、楽しめるように、選手紹介などの工夫や大会の準備をしていきます。

ご期待ください。

2000年度インカレショート実行委員会では、6月から「要項3(プログラム)」、及び「報告書(成績表)」に掲載する広告を募集いたします。母校の応援、所属クラブの宣伝、地図や大会の宣伝、選手の自分自身の応援、宣伝などなど、オリエンテーリングに関する宣伝以外でも、一般の会社・お店等の宣伝など何でもかまいません。

詳しいことは、広報担当 福井 樹 fukui@chujo.synchem.kyoto-u.ac.jp、もしくは、075-723-1336 までお願いします。

(担当 福井 樹)

